

お寿司の会【3月13日(火)】



皆さんの楽しみにしているお寿司を職人さんを呼んで握って頂きました。この板前さんはいつもお世話になっております食材を納入している担当者の方です。元寿司職人でもあり、本格的なお寿司を作っていただきました。カウンターには、マグロ・ウニ・イクラ・帆立などのお品書きがすらりと並び、ご飯も一合炊きの炊飯器3台を用意して準備も万端です。1階の方々は2階へ上がる際「(外は) 寒いね~お腹減るわ~」と笑いながらスタッフの腕をブラブラと揺らしても嬉しそうでした。またいつもは無口な方が「(寿司は)大好き」と笑顔で話されていました。会場はお酢のいい匂いがブーンと漂い、早くお寿司を食べたくなる気

待ちていっぱいになります。会が始まるときカウンターの前に並べられた色とりどりのネタに、「きれいだね～」と、見惚れて何を食べようか皆さんとても迷っています。「ウニ好き！」「マグロも食べる！」「たまご！」「目移りして決まらないから、てきとうに取ってきて！」など、意欲的に召し上がってます。好きなネタを聞くと「全部好き！何でも食べれちゃうから」という方も。終わりに近づくと「そっか～」と残念そうでした。「どれが美味しかったですか？」との問い合わせに「みんな同じくらいだ！」との返答があり、そして「今度は一緒に回転寿司に行こう」と笑っていました。

今日は満足した一日でした。

ひな祭りは、毎年恒例のフルートコンサートを行い楽しみました。やさしく心地よいフルートの音色は、心も体も癒されます。フルート奏者は、春光台に住んでいる■さんです。■さんは九州の長崎県出身で、皆さんも遠い異国を感じて、「素敵なお方ですね…」「何している人?」「長崎出身だから素敵なんだね」と、気になるのか興味を示していました。「一緒に写真撮りますか?」と声を掛けられていな

「恥ずかしい…」という場面もありました。フルート演奏では、『ふじさん』『青い山脈』『高原列車は行く』『いつでも夢を』『浜辺のうた』『赤い靴』『はとっぽっ』『となり組』『高校三年生…などよく耳にする馴染みの曲を沢山演奏していただきました。「うまいね～引っ込んでいられないわ～」「いい音色ですね!」「歌ってのどが渇いた!」と声が聞こえました。『さくら』を聴き、涙を流される方もおり、それにつられて感動さ

れる方もおりました。この日のおやつは手作りの甘酒、桜餅と桜のババロアでした。食べる事が大好きな皆さんには、季節を感じさせるおやつに「おいしい!」と、目を細めていました。行事が終了し各部屋に戻られる際、普段見たこともないスキップをして帰られる方の姿を目にしていました。また来年も楽しみにしつけております。



Bユニット
の生活



春のお彼岸がやってまいりました。各ユニット共に牡丹餅を作り楽しんでおります。また女性の方などは、亡くなったご主人様の写真の前にお供えをされておられました。その姿は、とても穏やかで嬉しそうです。



施設長コラム

～春はやっぱりいいですね！～
雪が消えて来ると同時に躑躅の薹
も芽吹き少しずつ春めいてまい
りました。花では新卒の新入職員
が2名就業を始め、今研修の真最

中です。とっても頑張ってくれています。その中で物事を素直に見て表現してきます。以前本田宗一郎氏が子供の目を通して物事の価値を学ぶことを書きましたが、かわいいもの

す。そして私たちもとても良い勉強になっています。4月になり日が長くなり、路面の雪も抜け、少しずつ行動半径が広がってきたり、春の山菜が食卓をされる機会も増えたりと、季節を感じられるようになってきました。
期待が膨らむ季節、春ってやっぱ
りいいですね！